

(別紙3)

環政起第1482号-1

令和4年9月21日

米子水鳥公園及び米子水鳥公園ネイチャーセンター

公益財団法人 中海水鳥国際交流基金財団

理事長 伊澤 勇人 様

米子市長 伊木 隆司

令和3年度「米子水鳥公園及び米子水鳥公園ネイチャーセンター」

指定管理者業務評価書

施設名	米子水鳥公園及び米子水鳥公園ネイチャーセンター
施設所管課	市民生活部 環境政策課
指定管理者名	公益財団法人 中海水鳥国際交流基金財団
指定期間	令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日(1年目)

【モニタリング終了後の総評】

【施設所管課】

設置目的を達成するため、事業計画に基づき事業を実施し、利用者から高い評価を得た。

令和3年度は、市民の自然環境に関する意識の向上を図るとともに、冬期平日の開館時間を午前9時に変更し、来館者対応の充実及び業務の効率化を図った。また、パスポート代金の減額及びwe love山陰キャンペーンを活用した入館料の割引を実施し、積極的に施設の利用促進を図った。

学習活動として、野鳥の専門家である指導員が講師として、自然観察会等定例のイベントを実施し、利用者の自然環境に対する意識の向上を図った。また、地域の住民やボランティア団体と協力して施設の特性を活かした事業を実施し、施設の多面的な利用及び地域の要望に貢献した。

施設管理としては、施設の老朽化による不具合に対する適切な修繕等、施設の安全対策を迅速かつ丁寧を実施した。また、新型コロナウイルス感染症対策及び夏期の熱中症対策を適切に実施した。

総合的に、良好な運営を行っているものと評価する。

【第三者評価】

高度な専門知識を持った指導員により、来館者への質の高い説明及び懇切丁寧な対応がなされている。国の鳥類標識調査員のライセンスを持った複数の指導員が継続して、鳥の状況をモニタリングすることで社会的に貢献している。また、環境学習の成果として、ラムサールクラブ等に参加していた複数の子どもたちが、新種の発見をしたり、大会で受賞するなど活躍した。

総じて、環境学習施設として地域社会への貢献を実現しているものと認められる点を高く評価する。

【今後の業務改善方策等の特記事項】 ※評価C及びDがないため記載なし。

【施設所管課】

【第三者評価】

(別紙2)

令和3年度下期「米子水鳥公園及び米子水鳥公園ネイチャーセンター」モニタリング評価表

〔令和4年8月〕

施設名	米子水鳥公園及び米子水鳥公園ネイチャーセンター	
施設所管課	市民生活部 環境政策課	
指定管理者名	団体名	公益財団法人中海水鳥国際交流基金財団
	所在地	米子市彦名新田 665
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日	
選定方法	非公募	
施設の設置目的	市民の自然環境に関する意識の向上を図るため。	
主な実施事業	設置目的を達成するため、下記の事業を行う。 (1) 野生鳥類等の観察並びに野生鳥類等及び自然環境に関する学習活動のための利用に供すること。 (2) 野生鳥類等及び自然環境に関する資料の収集及び展示を行うこと。 (3) 野生鳥類等の生態に係る調査及び研究を行うこと。 (4) 前3号に掲げるもののほか、市民の自然環境に関する意識の向上を図るために必要な事業。	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
<b>I 履行の確認 (55点)</b>			
<b>1 施設全般の管理運営に関する業務</b>			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がなされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査により確認：効率的な人員配置により業務を行っている。
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料等で確認：学会への参加、講師派遣等により資質向上に努めている。
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	A	資料等で確認：HPや公園だよりの活用、マスコミへの情報発信を積極的に行っている。
<b>2 利用者に関する業務</b>			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか ※1	B	資料等で確認
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	A	資料等で確認：利用者からの意見に適切に対応している。
<b>3 保守点検及び清掃等の業務</b>			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料等で確認
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	資料等で確認：基準で定められた業務以外に、自主的に清掃・維持業務を実施している。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料等で確認
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査、資料等で確認：建物の機能維持のため、適切な営繕を実施している。

4	情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	資料等で確認 運営上得た個人情報には施錠できるロッカーで保管している。
5	管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	A	立入調査・聴取等により確認：市と情報共有し、方針の具体化に努めている。
<b>II サービスの質の評価 (20点)</b>				
1	利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	A	資料等で確認：利用者アンケートではスタッフの親切かつ丁寧な対応に対し高い評価を得た。
2	維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	B	立入調査により確認
3	運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	A	資料等で確認：コロナ対策を行いつつ慎重にイベントを実施し、来館者数の大幅減少を防いだ。
4	施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	A	資料等で確認：施設の特性を活かし、野鳥等に関する展示、環境学習、調査研究等が実施されている。
<b>III サービスの安定性の評価 (15点)</b>				
1	事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか ※2	B	資料等で確認
2	経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※3	B	資料等で確認
3	団体等の経営状況(年度ごと)	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※4	B	資料等で確認

<p><b>【総評(所管課評価)】</b></p> <p>設置目的を達成するため、事業計画に基づき事業を実施し、利用者から高い評価を得た。</p> <p>令和3年度は、市民の自然環境に関する意識の向上を図るとともに、冬期平日の開館時間を午前9時に変更し、来館者対応の充実及び業務の効率化を図った。また、パスポート代金の減額及びwe love山陰キャンペーンを活用した入館料の割引を実施し、積極的に施設の利用促進を図った。</p> <p>学習活動として、野鳥の専門家である指導員が講師として、自然観察会等定例のイベントを実施し、利用者の自然環境に対する意識の向上を図った。また、地域の住民やボランティア団体と協力して施設の特性を活かした事業を実施し、施設の多面的な利用及び地域の要望に貢献した。</p> <p>施設管理としては、施設の老朽化による不具合に対する適切な修繕等、施設の安全対策を迅速かつ丁寧に実施した。また、新型コロナウイルス感染症対策及び夏期の熱中症対策を適切に実施した。</p> <p>総合的に、良好な運営を行っているものと評価する。</p>	<p><b>合計点</b> (70)点/(90)点 ×100=(77)</p> <p><b>平均点</b> (3.9)点</p> <p><b>※昨年度 合計点 77点、 平均点 3.9点</b></p>
--	---

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分 A(優良)＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。(5点)

B(良好)＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。(3点)

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は、評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1 利用状況

項目	本年度〔令和3年4月～令和4年3月〕 A	前年度〔令和2年4月～令和3年3月〕 B	対比 A-B、A/B		対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	293	291	2	100.7 (%)	
施設利用者数	16,261	16,415	-154	99.1 (%)	
施設稼働率	80.3	79.7	0.6	100.8 (%)	
事業開催数	94	84	10	111.9 (%)	

※2 事業収支

(1) 収入

項目	本年度〔令和3年4月～令和4年3月〕 A	前年度〔令和2年4月～令和3年3月〕 B	対比 A-B、A/B (%)		対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
利用料収入	1,244,930	1,342,320	-97,390	92.7 (%)	
指定管理料	49,092,000	42,715,000	6,377,000	114.9 (%)	
自主事業収入	0	0	0	0 (%)	
その他	266,340	431,320	-164,980	61.7 (%)	266,340円 (内訳) 66,200円 イベント収入 196,130円 We Love 山陰 4,010円 雑収入 前年度対象となった「米子市公の施設管理運営安定事業補助金304,494円」について、本年度は対象外となり収入減となった。
合計	50,603,270	44,488,640	6,114,630	113.7 (%)	

(2) 支出

項目	本年度〔令和3年4月～令和4年3月〕 A	前年度〔令和2年4月～令和3年3月〕 B	対比 A-B、A/B (%)		対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
人件費	39,391,100	34,132,918	5,258,182	115.4 (%)	
旅費交通費	33,868	19,000	14,868	178.3 (%)	指定管理におけるイベント学生ボランティアの交通費の増。
通信運搬費	175,830	118,485	57,345	148.4 (%)	指定管理における支払

					に係る銀行振込手数料の増。
消耗品費	714,229	300,916	413,313	237.4 (%)	小修繕に係る材料、植栽管理・除草作業用道具類の消耗品費の増。
修繕費	617,180	502,694	114,486	122.8 (%)	保護区内管理道整地修繕を行ったため。
印刷製本費	56,430	0	56,430	0.0 (%)	米子水鳥公園絵画コンクール募集チラシ印刷代
燃料費	335,084	325,313	9,771	103.0 (%)	
光熱水費	2,177,406	1,917,081	260,325	113.6 (%)	
賃借料	29,150	69,850	-40,700	41.7 (%)	例年、乗用草刈機のレンタルを年3回行うが、本年度は指定管理で1回、中海生態系調査研究事業で2回実施したため。
租税公課	2,383,100	2,127,280	255,820	112.0 (%)	
委託費	4,184,064	4,523,173	-339,109	92.5 (%)	
負担金	0	0	0	0.0 (%)	
報酬費	429,000	450,780	-21,780	95.2 (%)	
支払手数料	1,480	1,150	330	128.7 (%)	預金残高証明書発行手数料が有料化となったため。
雑支出	0	0	0	0.0 (%)	
合計	50,527,921	44,488,640	6,039,281	113.6 (%)	

### ※3 経営状況分析指標

項目	本年度〔令和3年4月～令和4年3月〕 A	前年度〔令和2年4月～令和3年3月〕 B	対比 A-B、A/B (%)		備考
① 事業収支	75,349	0	75,349	0.0 (%)	
② 利用料金比率	2.5%	3.0%	-0.5	83.3 (%)	
③ 人件費比率	78.0%	76.7%	1.3	101.7 (%)	
④ 外部委託費比率	8.3%	10.2%	-1.9	81.4 (%)	
⑤ 利用者当たり管理コスト	3,107	2,710	397	114.6 (%)	
⑥ 利用者当たり自治体負担コスト	3,019	2,602	417	116.0 (%)	

#### ① 事業収支：(収入-支出)

事業全体が黒字で施設の管理運営ができているかどうかを確認する。赤字の場合は管理継続性の面での課題を解決し、黒字化のための方策を検討する。

#### ② 利用料金比率：(利用料金収入/収入)

収入に占める利用料金の割合。指定管理者の収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを確認する。

③ 人件費比率：(人件費/支出)

支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が減らされすぎていないか、逆に費用がかかりすぎていないかを確認する。

④ 外部委託比率：(外部委託費合計/支出)

支出に占める外部委託費の割合。外部委託に過度にシフトしていないかを確認する。

⑤ 利用者当たり管理コスト：(支出/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

⑥ 利用者当たり自治体負担コスト：(指定管理料/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる自治体の費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

※4 団体等の経営状況(年度毎に実施)

	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	備考
①自己資本比率	99.3	99.0	99.2	98.9	98.8	
②流動比率	496.1	411.0	460.3	540.1	539.3	
③固定長期適合率	97.3	96.0	96.2	95.8	95.7	
④総資産経常利益率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
評価	(以上の指標を参考に評価する。)各数値を見る限り、経営状況に問題なし。					

※貸借対照表と損益計算書を基に計算。太枠内に今年度の数値を記載し、左側に過去4年分を記載。

①自己資本比率

総資産(資産合計)に占める自己資本(純資産合計)の割合を示した指標。どれだけ借金に頼らず経営をしているかを示す。比率が高いほど借金(負債合計)に頼る割合が低く、経営が安定していることを示す。一般的には、70%以上なら理想企業、40%以上なら倒産しにくいとされている。

$$\text{自己資本比率(\%)} = \text{自己資本} \div \text{総資産} \times 100 \quad \text{【例】} 800 \div 2,000 \times 100 = 40.0\%$$

$$\text{【公益法人会計の場合：正味財産計} \div \text{資産計} \times 100 \text{】}$$

②流動比率

団体の短期的な支払い能力を示す指標。1年以内に現金化できる試算を「流動資産」、1年以内に支払いを要する負債を「流動負債」と言い、「すぐに準備できるお金」と「すぐに返さないといけないお金」のバランスを比較する。流動資産(すぐに準備できるお金)の方が多いほど、支払い能力が高いことを示す。100%以上であれば問題ない。100%未満であれば資金繰りが苦しいとされる。

$$\text{流動比率(\%)} = \text{流動資産} \div \text{流動負債} \times 100 \quad \text{【例】} 1,100 \div 700 \times 100 = 157.1\%$$

③固定長期適合率

固定資産をどの程度、自己資本(純資産合計)と固定負債で賄っているかを示す指標。土地や建物など、この先1年以上換金できない、または換金しない固定資産を返済義務のない自前の資金である自己資本(純資産合計)と長期で調達したお金(固定負債)でどれだけ賄えるかを見る。100%未満であれば問題ないが、100%以上の場合は固定資産の維持調達について流動負債にも依存していることを示すことから、資金繰りが苦しいと考えられるとされる。

$$\text{固定長期適合率(\%)} = \text{固定資産} \div (\text{固定負債} + \text{自己資本}) \times 100 \quad \text{【例】} 900 \div (500 + 800) \times 100 = 69.2\%$$

$$\text{【公益法人会計の場合：固定資産} \div (\text{固定負債} + \text{正味財産計}) \times 100 \text{】}$$

④総資本経常利益率

団体の総合的な収益力を示す指標。団体の総資産(資産合計)に対して、どれだけ経常利益を稼ぎ出しているかを示す。比率が高いほど資本を効率的に運用し、収益を上げている。

$$\text{総資本経常利益率} = \text{経常利益} \div \text{総資産} \times 100 \quad \text{【例】} 200 \div 2,000 \times 100 = 10.0\%$$

$$\text{【公益法人会計の場合：正味財産増加額} \div \text{総資本} \times 100 \text{】}$$

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

(1) (ご意見) 望遠鏡を清掃して欲しい。

(対応) コロナウイルス対策も踏まえ、開館前及び適時に望遠鏡のアルコール消毒清掃に心がけている。また、来館者の望遠鏡の利用後には、観察設備(望遠鏡・椅子)の整備をするように心がけている。

(2) (ご意見) 正門から建物までの花壇に草が生えており、見た目が悪い。(7月回収アンケート)

(対応) 植栽管理委託業者の7月作業予定のうち園内花壇の除草作業は7月 15日～20日の予定であったため、この間に除草作業を行った。

(3) (ご意見) 望遠鏡のピント合わせがわからなかった。

(対応) 望遠鏡の扱いが不慣れな来館者へは、解説員・指導員よりピントの調整方法を説明するように心がけている。

## 6 利用者アンケートの結果

○水鳥の観察をする時に色々教えていただき詳しく知ることができて良かったです。

○鳥がいっぱいいてすごかったです。

○とても楽しかったです。また遊びたいです。

○色々説明してもらって水鳥のことがよくわかりました。

○クイズがあつて、楽しかったです。

○ブログがおもしろい。ハクチョウ以外の鳥がまじかに見られるということがすごいです。

○よかったです。コハクチョウが寝ているところを見ることができました。

○景色がきれいで、カモの動きがレンズを通して良く見えた。

○とても勉強になりました。

○思った以上に楽しめました。特に望遠鏡がたくさん置いてあり、扱いやすく良かったです。ゆったりした音楽でカフェのような気分で滞在できました。

○とても癒されました。また、来ます。

○館内が涼しくてとても居心地が良かったです。指導員の説明が丁寧で好感を持ちました。物腰が柔らかくて素敵でした。ハクチョウ同士のラブストーリーに心奪われ、鳥って面白いなと思いました。ありがとうございます。

○子どもたちが鳥の衣装を着て大喜びでした。

○ぜひ、大人になったら働かせてください。